



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年7月24日(月)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

10

1学期終業式で、次の話をしました。

八鹿小学校の校長でご勇退なさった、東井義雄先生、「いのちの教育」の実践者として「村を育てる学力」を提唱され、教育界の国宝とも称された先生です。

この東井義雄先生が、教員の授業づくりについて次のように述べられました。

「授業の創造ということは、テクニックの追求ではない。教師が古い自分を切り捨て、新しい自分を生み出していく営みである。」

「創造とは、古い自分を切り捨て、新しい自分を生み出すこと。」このことは、学校の先生の授業づくりのみならず、わたしたちが生きていくうえで、あらゆることに共通してあてはまるのではないのでしょうか。

6週間の夏休み、あなたは「新しい自分を生み出す」準備はできていますか？学習においても、部活動においても、「これを克服しよう」「これをやりとげよう」という強い決意を持って、今日を迎えていますか？

やってみてうまくいかないのは、失敗ではありません。やろうとしないこと、一生懸命にやらないこと、これは失敗と呼んでよいでしょう。まずは、「難しそうだから」「どうせ無理」という言葉を封印しましょう。

「創造とは古い自分をそぎ落とし、新しい自分を生み出すこと。」

「やってみてうまくいかなかったことを、失敗だといって悔いる必要はない。」

結びに、いつも伝えていることですが、何度でも言います。

○皆さん一人ひとりが「かけがえのない存在」「大切な人」です。あなたの安全が何より大切です。

○人を、あなた自身を、傷つけたり、おとしめたりする言葉や行動になっていませんか？八鹿高校新聞に、ジャムおじさんの話を書きました。自分の発言や行動をふりかえり、いつでも「これでよし!!」と言える人でいましょう。

以上、式辞とします。